

## 黄色い田んぼ

秋の田の刈穂のいおのとまをあらみ  
夜露濡れるソデを悲しむのでなく  
夜を静かに黙想するような静寂

大事な稲刈りを明日に控えて  
泊まり番する昔の人のように  
辛いばかりでなく喜びもあったろう

秋の夜 清々しさが  
心待ちにつながる時

黄色い田んぼ日差し受けて輝き  
黄色でなくてまさに黄金色になり  
その風景は壮大なひとときになる

すこし曇って透明な風が吹いて  
トンボの羽時々きらりと輝く  
曇った時穏やかに明るいじゅうたん

秋の風 透明さが  
心待ちにつながる時